

学力向上に効果のある取組事例

九重町立南山田小学校

①基礎的・基本的な知識及び技能の習得

取組の具体①

○基礎・基本の確実な定着

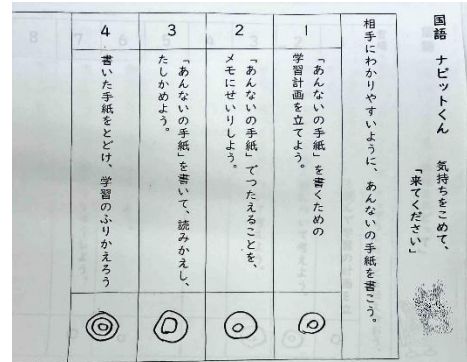
①授業における「振り返り」の徹底

- ・毎時間の振り返り 「つけたい力(めあて)」を明確にして授業を展開し、終末に「振り返り」を行うことで、学習内容の確実な定着を図る。
- ・学習計画「ナビットくん」の活用 単元全体を見通して計画的に振り返ることで、児童が見通しを持って主体的に学び、自らの成長(学習の足あと)を実感できるようにする。

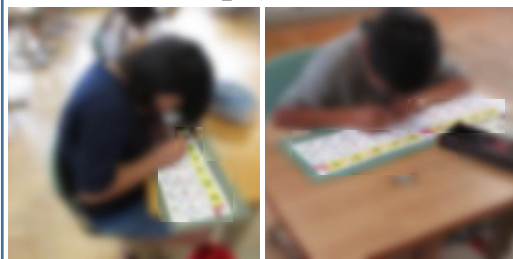
②小テストやドリル・プリントを活用した基礎基本の定着

- ・授業での復習 算数・国語を中心に、授業の導入で前時の復習や小テストを取り入れる。
- ・確認テストの実施 毎週1回、漢字等の確認テストを実施する。
- ・「みなみタイム」の活用 朝の「みなみタイム」(週4回)で、読書や音読とともに、ドリルやプリント等を使った漢字や計算等の習熟・定着を継続的に行う。

○「ナビットくん」(3年国語) 例



○「みなみタイム」漢字の書き取り



取組の具体②

○児童一人ひとりの「自己肯定感」と「自律」の向上

①「ほめほめ大作戦」等による自己・他者理解

- ・自分のよさ見つけ 週1回、自分自身のよさやがんばりを見つめる時間を設定し、専用ファイルに保管。月1回、掲示板や全校集会、全校放送等で紹介・交流。
- ・他者のよさ見つけ 「いいこと見つけタイム」や人間関係づくりプログラムを通じ、友だちのよさを見つめ、認め合う。

②自律を育む教職員の指導・環境づくり

- ・伴走者としてサポート 教員は「任せる」「待つ」「考えさせる」姿勢を意識し、教えすぎず伴走者として児童を支援。
- ・心理的な安全性の確保 「失敗は成功のもと」と思える、安心して挑戦できる環境をつくる。
- ・主体的な学びへの転換 自己決定の場を増やす指導を行い、「やらされる勉強」から「自ら選ぶ学び」への転換を図る。
- ・自律を育む言葉かけ 結果への「評価」ではなく、児童の努力やプロセスに対する「承認・貢献・事実」を伝える言葉かけを徹底する。

○「ほめほめの花」の掲示



○教師の役割の転換

教えすぎ・評価

- ・一方的な伝達
- ・指示中心

伴走・問いかけ・承認

- ・学びのサポート
- ・問いかけと対話
- ・個々のよさを認める